

【資料】 令和6年度 教育委員会委員活動状況について

(1) 教育委員会の会議回数等

年	月	月日	議案	協議事項	報告事項
令和6年	4	R6.4.24	1	0	1
	5	R6.5.20	7	0	1
	6	R6.6.21	4	0	1
	7	R6.7.22	2	0	1
	8	R6.8.20	3	2	1
	9	R6.9.30	1	0	1
	10	R6.10.28	0	0	1
	11	R6.11.19	0	0	2
	12	R6.12.23	0	1	1
令和7年	1	R7.1.29	2	1	1
	2	R7.2.25	7	0	1
	3	R7.3.28	2	0	1
計(12回)			29	4	13

(次回教育委員会日程は除く)

(2) 令和6年度 教育委員の学校園等訪問 <12日間、15箇所>

(小・中学校8、認定こども園4、子育て支援センター2、学校給食センター)

月日	午前
R6.6.24	温泉小学校
R6.6.25	浜坂東小学校
R6.6.28	浜坂北小学校
R6.7.2	照来小学校、浜坂南小学校
R6.7.4	浜坂西小学校
R6.10.18	浜坂認定こども園
R6.10.23	浜坂中学校
R6.10.29	大庭認定こども園
R6.10.30	夢が丘中学校
R6.11.8	明星認定こども園
R6.11.13	浜坂子育て支援センター、学校給食センター(給食)
R6.11.14	ゆめっこ認定こども園、温泉子育て支援センター

(3) その他活動

	月日	内容	場所	出席人数
町外事業	R6.5.16	兵庫県教育委員会連合会総会・研修会	姫路市	3名
町外事業	R6.7.23	但馬連合会総会・研修会	香美町	3名
町外事業	R6.8.22	全県夏季教育委員会研修会	神戸市	3名
町内事業	R6.11.13	近畿市町村教育委員会研修大会	オンライン	4名

	月日	内容	場所
町内行事	R6.4.1	教職員辞令交付式	浜坂多目的集会施設
	R6.4.	入学(園)式	各学校園
	R7.3.	卒業(園)式	各学校園

※ 任意参加行事: 運動会、オープンスクール、学習発表会、文化祭 等

令和6年度 社会教育施設・事業評価について

番号	施設名	事業評価概要	
1	加藤文太郎 記念図書館	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は図書館開館30周年を迎え、記念事業として「加藤文太郎の歌」のシンガーソングライターを招いた登山イベント、マジックショー、アルピニスト野口健による記念講演を実施した。これにより、町外も含めた図書館の啓発と加藤文太郎の顕彰を行うことができた。</li> <li>・わらべうたに関する講演会と体験イベントを繰り返し行うことにより、子育て世代に絵本への興味・関心を高め、利用促進につなげることができた。</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きボランティア・学校・温泉公民館図書室、浜坂駅ぶんちゃん文庫等と連携して読書推進をはかり、地域の情報拠点として若者から高齢者まで各世代のニーズに応じた資料の充実と図書のPRIに努める。加藤文太郎を多くの人に知っていただくために、加藤文太郎山の会などの団体と連携しながら顕彰を進めていく。</li> </ul>
2	浜坂 先人記念館	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外の出展者による絵画、写真等の美術作品の展示を行ったほか、郷土の先人を取り上げた企画展や作品展示を行った。</li> <li>・郷土の先人については、作品の展示のほかに偉人マンガ関連の企画展など多面的な試みを行った。</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館による展示については一定の集客があるが、収蔵資料を展示する企画展については来館者が伸び悩む傾向があり、企画立案と集客方法について検討が必要である。</li> </ul>
3	文化財センター	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室を備えた文化財収蔵施設として稼働し2年目になり、文化財関係の講座等で会場として利用した。</li> <li>・資料整理については、先人記念館から移動した美術作品を整理し展示に活用したほか、未整理であった郷土史家の寄贈資料の整理、分類を進め、「浜坂商店街のチラシ展」「明治大正昭和の古写真展」などのミニ展示を開催した。</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の歴史文化財活用の拠点として地域住民へのPRを行う必要がある。</li> <li>・先人記念館から味原小径、文化財センターを含めた範囲を散策のルートとして利用を促し、町内外への更なる周知が必要である。</li> <li>・資料、書籍類の閲覧と利用のための目録作成など一体的整理と、対応できる人材配置が不可欠である。</li> </ul>
4	八田 コミュニティ センター	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館事業は、利用者数・利用回数と併せて前年度に引き続き増加傾向にあり、多くの利用がある。</li> <li>・令和6年度は写真や絵画の作品展など多様な催し物の会場として地域内外から利用があった。</li> <li>【指定管理者：八田文化交流会】</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室の利用について、前年度から入館者数等は増加の傾向にあるものの、長年の課題となっている展示内容の充実に向けて、展示スペースのレイアウト変更や展示資料の活用、収蔵資料の整理などに取り組む必要がある。</li> </ul>
5	社会体育施設	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常貸館事業では、新型コロナウイルスワクチン接種での団体利用が無くなり、体育館の利用者数は減少したが、スポーツでの利用者数は昨年同等である。その他の施設(山村広場グラウンド、グラウンドゴルフ場、テニス場、相撲場等)の利用者は昨年度より増加している。(前年対比：利用件数92.3%、利用者数83.0%)</li> <li>・引き続き、随時各種大会イベントなどを開催し、スポーツの普及推進を図る。</li> <li>【指定管理者：新温泉町スポーツ協会、上山高原エコミュージアム】</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設ともに経年劣化等による老朽化が激しく、今後は体育施設の耐震補強も含め、計画的に大規模改修及び改築または廃止等を検討していく必要がある。</li> <li>・老朽化が進む旧照来小学校体育館、旧八田中学校体育館については、地元や指定管理者と協議を行い、令和7年度末までに廃止する方向で調整中である。同じく老朽化が進むB&amp;Gプールは令和6年度末をもって廃止するが、施設管理は行いつつ、当面は防火水槽として活用することとする。</li> <li>・艇庫事業においては、学校教育や社会福祉、観光関係者と連携し、利用促進を図っていく。</li> </ul>

令和6年度 社会教育施設・事業評価について

番号	施設名	事業評価概要	
6	町民センター 図書室	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常図書貸出業務 新規登録 120冊</li> <li>・図書配置について利用者にわかりやすいレイアウトを心がけ、利用者の求める本の相談に応じるなど、町民がより利用しやすい図書室づくりを行う。</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規図書購入について、加藤文太郎記念図書館と連携し図書の選定を行った。今後、利用者のニーズをさらにリサーチしてコンパクトな図書室の利点を活かした誰もが利用しやすい図書室の環境づくりを行っていく必要がある。</li> </ul>
7	文化体育館 「夢ホール」	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝くじ文化公演「コロッセwithものまね芸人 爆笑！スペシャルライブ」で600席が満席になり、人形劇団プーク「エルマーとりゅう」公演では450人の来場があった。また、但馬内で活動している劇団ファクトリーによる「演劇公演」など新たな事業を実施したほか魅力あふれた各種自主事業を継続して開催し夢ホールを広くPRするとともに、交流人口の拡大に寄与した。</li> <li>・アナウンス講座などを計画的に実施し、若い世代がオペレーターへの興味・関心を抱く機会を提供し、オペレーター育成の充実を図った。</li> </ul>
		課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より有益な芸術鑑賞の機会を提供していく必要がある。</li> <li>・町民が夢ホールを身近に感じられるよう魅力的なイベントの誘致、PRの実施、芸術文化観光専門職大学との連携事業の活性化、新たな参加客層（特に若者世代）獲得のために、SNSの積極的な活用などを継続して検討するとともに計画的、具体的に実施していく必要がある。</li> </ul>